



今年の4月に実施した全国学力・学習状況調査(3年生で実施)の結果が、既に新聞で公表されています。三国中学校では、実施直後から分析を行いました。県平均・全国平均との比較から見てきた新たな課題を真摯に受け止め、1～3年の全ての学年と、全ての教科で対策を講じて参ります。

### 国語

	全体	言葉や特徴の使い方	情報の使い方	我が国の言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
県	◎	○	◎	▼	▼	◎	◎
全国	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎

全国や県と比較した本校の平均正答率 (%)  
 ◎≥2 2>◎≥1 1>○>-1 -1≥▽>-2 -2≥▼

### 国語における主な対策

- ・書写の時間、課題の毛筆練習だけでなく、行書の特徴についても理解が深められるよう、教科書を使用したり、他の漢字についても触れるなど、もう少し時間をとれるようにします。

### 【良いところ】

- ・自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書くことができています。
- ・場面の展開や登場人物の心情の変化など、描写を基にとらえたり、場面と場面などを結びつけて内容を解釈したりすることができています。
- ・書くこと、読むことにおいて、無回答が極めて少なかったです。

### 【課題】

- ・行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択できていませんでした。

### 数学

	全体	数と式	図形	関数	データ活用
県	▼	▼	▽	▼	▼
全国	▽	▼	◎	○	○

全国や県と比較した本校の平均正答率 (%)  
 ◎≥2 2>◎≥1 1>○>-1 -1≥▽>-2 -2≥▼

### 数学における主な対策

- ・基本的な計算を確実に解くことができるように、計算練習の時間を設けていきます。
- ・数学的用語を使い、自分の考えを伝え合うような時間を設定し、正しく理解できる指導を行っていきます。

### 【良いところ】

- ・記述式の問題で無回答の割合が少なかったです。
- ・確率の意味を良く理解できていました。

### 【課題】

- ・四則計算があまりできていませんでした。
- ・素因数分解、変化の割合など、数学的な用語が正確に覚えられていませんでした。
- ・箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることなど、数学的な結果を分析することができていませんでした。

# 理科

	全体	エネルギー	粒子	生命	地球
県	▼	▽	▽	▼	▼
全国	○	◎	◎	○	▼

全国や県と比較した本校の平均正答率 (%)

◎≥2 2>◎≥1 1>○>-1 -1≥▽>-2 -2≥▼

## 【良いところ】

- ・問題に意欲的に取り組み、解答率が高いです。
- ・選択問題よりも記述問題の正答率が高いです。

## 【課題】

- ・県や全国と比較すると、地球を柱とする領域や思考・判断・表現の選択問題に関する正答率が低く、条件制御に課題が見られます。

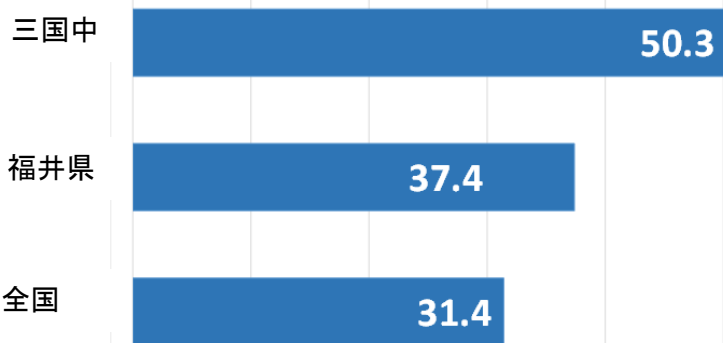
## 理科における主な対策

- ・実験器具の名称や使用法をしっかりとおさえ、実験の目的を明確にします。また、実験をするときにどのような条件で行うべきかを考えてから実験に取り組むように指導します。
- ・授業の中で一問一答(タブレットや小テスト)や授業の振り返りを行い、学習内容が定着するように取り組みます。
- ・身近なものや生活の中の疑問を考えることで理科に関する興味や関心を高めるように取り組みます。

# 学習習慣と生活習慣の調査から見えてくる三中健児

## 良いところ

○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか(%)

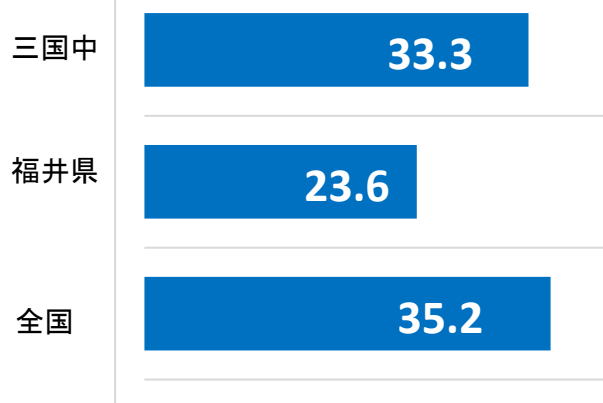


※グラフは「当てはまる」の割合を表しています。(「どちらかといえば、当てはまる」を加えると本校は 83.7%となります。)

## 課題が見られたところ

○学校の授業時間以外に普段(月～金)一日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。

(学習塾・家庭教師・インターネット活用を含む)(%)



※グラフは「2時間以上」と答えた生徒の割合です。新型コロナウイルスの感染拡大により、タブレットを使った遠隔授業はできるようになりましたが、遠隔授業後に自分で学習するという意欲にまでつながらなかったようです。

